

切迫する南海トラフ地震や激甚化・頻発化する風水害等の被害を軽減するための対策や下水道等インフラの老朽化対策等を推進するため、生産性向上や効率化のためのデジタル化及び脱炭素社会の実現に向けたグリーン化の観点を取り入れつつ、次の3点を柱に、労務単価及び資材価格の高騰をふまえて必要な公共事業予算を確保し、国土強靭化等補正予算と合わせて切れ目なく取組を進め、事業の着実な進捗を図ります。

### (施策推進の3本柱)

#### 1 強靭な県土づくりの強力な推進

予防保全型のインフラ老朽化対策の推進、気候変動をふまえた事前防災対策の加速化、流域治水の推進、住宅耐震化の促進、河川・海岸堤防等の耐震化、「命の道」となる道路の整備、緊急輸送道路の機能確保、道路啓開の迅速化、港湾施設の機能確保、放置船対策、下水道施設の耐震化、大規模災害に備えた災害対応力の向上、デジタル化の推進

#### 2 暮らしに身近な課題への対応の強化

安全で快適な道路空間づくり、交通安全対策、脱炭素社会(カーボンニュートラル)の実現、盛土等による災害への対策、良好な住環境の実現

#### 3 豊かで活力のある地域づくりの推進

産業の活性化や生産性の向上等に資する道路整備、地域の賑わい創出のための道路空間再編、花とみどりの三重づくり基本計画に基づく取組の推進、道路空間のグリーン化、防災機能等を備えた都市公園の整備、県産木材の利用推進、観光誘客の促進に向けた取組

### (公共事業の的確な推進)

建設産業活性化に向けた取組

(担い手の確保、労働環境の改善、生産性の向上、企業の安定経営に向けた対応)